

YMCA国際チャリティランは、参加費で障がいのある子どもたちを支援すると共に、障がいへの社会的関心を高めることを目的とした駅伝大会で、1987年以来毎年開催しています。現在では東京の他に全国17都市のYMCAで行われ、毎年5千人以上のランナーが参加しています。

東京では、1チーム6人で、1人が1.3kmずつ走ります。記録を競う本格的なチームや、コスチュームを楽しむチーム、障がい者グループなど、参加者層の多彩さもこの大会の特長です。今年の優勝は、富士ゼロックス端数倶楽部のチーム「SAMURAI XEROX」。ほかにコスチューム賞、高齢者賞などたくさんの賞が送られました。

今年は初めて「子どもラン」を開催したところ、幼児・小学生およそ300人が参加。大人と同じ1.3kmを走りました。幼児は保護者同伴のため、総勢500人以上がコースを埋め、パレードながらの大レースとなりました。全力で走り切る小学生や、途中で歩きながらも頑張る幼児など、子どもたちの懸命な姿に、沿道は皆、顔をほころばせ、大声援が送られました。

昨年大会委員長となった女子マラソンメダリストの有森裕子氏は、スケジュールの都合で来場できませんでしたが、代わりにビデオメッセージが届けられました。

会場には、250人の運営ボランティア・スタッフを含め、およそ1300人が集まり、昨年以上の賑わいとなりました。ボランティアによる模擬店や、区内の障がい者団体「ゆめま〜」と「ブレドール」によるパンとカレーの販売も好評で、会場をより一層盛り上げてくれました。

支援金は、抽選券販売なども含めて総額728万5,944円。ほかに、物品による協賛も多数いただきました。参加者にはパンと飲み物が提供されたほか、賞品や抽選会の景品として、日用品、宿泊券、デジカメ、テレビ、航空券など、各種の品が寄せられました。

多くの方の温かな心とさわやかな笑顔によって、今年もこの大会が無事開催できましたことを、心より感謝申し上げます。



オープニングは東陽町ウエルネスのチアリーディング



初開催の子どもランには500人の親子連れが参加



ランの様子。スカイツリーを見ながらゴールします。

ボランティアによる模擬店



抽選会特賞は香港航空券



大会運営は250人のボランティア・スタッフが活躍



支援金授与

心から感謝申し上げます

【全国協賛】

三菱商事株式会社

【参加・協賛】

【協賛】

東燃ゼネラルグループ
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社
富士ゼロックス端数倶楽部
ジョンソンコントロールズ株式会社
JKホールディングス株式会社
株式会社カーギルジャパン
ピザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
キャセイパシフィック航空日本支社
花王株式会社 花王ハートポケット倶楽部
株式会社アサヒ・エコキャリア
有限会社中村商店
フットマーク株式会社
DIRインフォメーションシステムズ株式会社
山崎製パン株式会社
アーバン ベンディックスネットワーク株式会社
キッコーマン株式会社
東京海上不動産投資顧問株式会社
ライオン株式会社
アメアスポーツジャパン株式会社
株式会社ダイエー
株式会社昭和電気産業
コストコホールセールジャパン株式会社
有限会社レッド ウィング

尾瀬戸倉温泉 ホテル玉城屋
神谷商事株式会社（神谷バー）
ビスタ保険事務所
熱海Y M C A
国際青少年センター東山荘（日本Y M C A同盟）
富士山Y M C A
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
在京ワイズメンズクラブ
東京江東、東京グリーン、東京北、東京ひがし、東京、東京むかで、東京世田谷、東京目黒、東京まちだ、東京コスモス、東京センターアル、東京銀座、東京白金高輪、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぼぼ、東京セントラル

東京Y M C A江東コミュニティセンター
江東Y M C A幼稚園
東京Y M C A東陽町コミュニティセンター
東京Y M C A国際ホテル専門学校
しのもめY M C Aこども園
東京Y M C A山手コミュニティセンター
東京Y M C A西東京コミュニティセンター
東京Y M C A南コミュニティセンター
東京Y M C A妙高高原ロッジ



2年連続優勝の富士ゼロックス端数倶楽部「SAMURAI XEROX」の皆さん



子どもたちも 1.3 km走りました